

2019年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会 開催要項

1. 目的

日本スポーツ協会（以下「本会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づき、本会公認スポーツドクター及び公認コーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、トレーニング及びコンディショニング等を担当する公認アスレティックトレーナーを養成する。

2. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会

3. カリキュラム

（1）共通科目（150時間：集合講習及び自宅学習）

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1.	グッドコーチ（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者）に求められる人間力
2.	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3.	現場・環境に応じたコーチング

（2）専門科目（600時間：集合講習及び自宅学習）

1) アスレティックトレーナーの役割	30h
2) スポーツ科学	120h
3) 運動器の解剖と機能	60h
4) スポーツ外傷・障害の基礎知識	60h
5) 健康管理とスポーツ医学（ドーピングコントロール含む）	30h
6) 検査・測定と評価	60h
7) 予防とコンディショニング	90h
8) アスレティックリハビリテーション	90h
9) 救急処置（各自赤十字救急法救急員の資格を別に取得する）	30h
10) スポーツと栄養	30h

（3）現場実習（180時間）

1) 見学実習	30h
2) 検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	30h
3) スポーツ現場実習	30h
4) アスレティックリハビリテーション実習	30h
5) 総合実習	60h

4. 実施方法

(1) 共通科目

- ・事前学習：リファレンスブックによる自宅学習及びe-ラーニングを用いた知識確認テストを実施する。
- ・集合講習会：2019年7月から11月にかけて、4日間で実施する。
- ・事後学習：リファレンスブック等による振り返り、現場実践を踏まえた課題を提出する。

(2) 専門科目

- ・集合講習会：以下の通り実施する。

1期（2日間：13時間） 2019年11月頃

2期（4日間：29.5時間） 2020年1月頃

3期（5日間：37時間） 2020年4月頃

4期（6日間：51時間） 2020年6月頃

5期（6日間：46.5時間） 2020年10月頃

※2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、集合講習会の開催日程は変更となる場合がある。

※集合講習会は、必ず1期から5期の順で受講しなければならない。

※4期講習会受講前に日本赤十字社の救急法救急員養成講習を受講し、検定試験に合格の上、有効期間内の認定証を必ず提出しなければならない。

- ・自宅学習：各自でテキスト及びテキストワークブックを中心に行う。

5. 受講者

(1) 受講条件

受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者で、本会、本会加盟団体（都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体等）及び本会が特に認める国内統轄競技団体（以下「加盟団体等」という。）から推薦され、受講者選考基準を満たす者

(2) 受講者数

100名以内

6. 受講申込み

受講希望者は所定の受講希望者経歴書に必要事項を記載し、加盟団体等に提出する。

加盟団体等は、受講者推薦書を作成し本人が記載した受講希望者経歴書とともに本会へ提出する。

7. 受講料 91,800円（消費税込：受講内定時に納入）

<内訳> ・共通科目： 19,440円 ※リファレンスブック代別途3,240円(税込)

・専門科目： 72,360円

※免除・資格審査料等については別に定める。

※実技試験受験料については受験1回ごとに30,000円(税別)を納入する。

詳細は検定試験実施要項で定める。

8. 受講者の内定から決定までの流れ

- (1) 加盟団体等から提出された受講者推薦書及び受講希望者経歴書に基づき、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会において活動実績等を審査の上、受講者を内定し、推薦を行った団体及び本人宛に通知する。
- (2) 受講内定者は、所定の受講申込書に必要事項を記入し、受講料を本会に納める。
- (3) 本会において受講料の入金を確認した後、受講者として正式に決定する。

9. 講習・試験の免除

既存資格及び本会免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部又は全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。なお、養成講習会受講者は現場実習を免除する。

10. 検定試験・審査

- (1) 共通科目は知識確認テスト及び事後学習の課題提出、専門科目は理論試験及び実技試験を実施する。
- (2) 共通科目における知識確認テストは一定以上の知識を有することを確認し、事後学習後の課題は本会において内容を審査する。
- (3) 専門科目における検定試験は、専門科目講習会を全て受講し、本会の定める救急処置に関する資格を取得している者が受験できる。
- (4) 専門科目における検定試験は、理論試験、実技試験の総合判定とし、本会において審査する。但し、実技試験は理論試験に合格した者が受験することができる。
- (5) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格した者を「本会公認アスレティックトレーナー養成講習会修了者」として認める。

11. 登録及び認定

- (1) 共通科目及び専門科目の検定試験に合格した者に修了通知を送付し、その後、登録手続き（登録料の納入等）を完了した者を本会公認アスレティックトレーナーとして認定し、「認定証」及び「登録証」を交付する。
- (2) 資格の有効期間は4年間とし、4年毎に更新する。ただし、本会公認アスレティックトレーナー以外に本会公認スポーツ指導者資格をすでに有している場合、初回の有効期間は、新規認定期日から当該資格の次回更新登録期限までとする（スポーツリーダーは除く）。本資格を更新しようとする者は、更新登録期限の6か月前までに、本会が定める研修を受講するとともに、研修受講時に一次救命処置（心肺蘇生法及びAED）に関する資格認定証を提示しなければならない。

12. 注意事項

- (1) 受講有効期間は、原則として受講開始年度を含め共通科目検定試験及び専門科目理論試験合格まで5年間とし、最終年度の3月31日までとする。また、専門科目実技試

験は専門科目理論試験に合格した後、受講有効期間に限らず 2 回まで受験することができる。

なお、受講有効期間内に共通科目検定試験及び専門科目理論試験に合格しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。

- (2) 本講習会受講に際し取得した個人情報は、本講習会受講者の管理及び諸連絡以外には使用しないものとする。
- (3) 本講習会の受講有効期間内に他の本会公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他の本会公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内又は未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (4) 受講者の推薦に際し、加盟団体等は団体内の医科学委員会やアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレーナーに関する担当委員会等において決定すること。
- (5) 同一人物が同一年度に複数の団体から推薦を受けた場合、一団体からの推薦のみを審査対象とする。なお、いずれの団体からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー一部会にて決定する。
- (6) 受講申し込みから資格取得までの概要については別紙を参照すること。
- (7) 講習会（共通科目・専門科目）開催にかかる経費については、原則として本会が負担するが、受講者の旅費（宿泊費含む）に関する補助は行わない。
- (8) 受講内定者が受講を辞退した場合、当該推薦団体から追加の内定は行わない。
- (9) 受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合は、本会指導者育成専門委員会及びアスレティックトレーナー一部会で審査し受講が取り消される場合がある。
- (10) 本講習会風景の写真等は、日本スポーツ協会ホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (11) 天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の日本スポーツ協会が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、日本スポーツ協会ではその責任は負わない。
- (12) 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、専門科目集合講習会の開催日程は変更となる場合がある。

スポーツと、望む未来へ。



公益財團法人
日本スポーツ協会

JSPO
Japan Sport Association



この講習会は、スポーツ振興くじの助成金を受けて開催されています。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者選考基準

本会公認アスレティックトレーナー（以下「JSPO-AT」という）養成講習会の受講者選考は、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会において、以下のとおり選考基準を設けています。

つきましては、下記事項をご留意の上、受講者を推薦いただきますようお願ひいたします。

1. 受講者選考基準について

受講希望者経歴書に基づき下記の要点で選考しますので、未記入または記入内容が著しく乏しい場合は、推薦団体に確認することなく無条件で選考対象外としますのでご注意ください。

(1) トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績*

- ①活動年数 (2年以上の継続した実績があり、現在も活動をしていること。)
- ②活動内容
- ③活動対象
- ④現在の活動の有無 (現在の活動がない場合は選考対象外)

*トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績とは、JSPO-ATの役割にある「競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、体力トレーニング、コンディショニング等」のスポーツ現場での複数の活動とする。

従って、単なるトレーニング指導や医療従事者等が自身の生業として病院や施術所等で行う業務、一般人向けの健康指導等はこれにあたらない。

【トレーナーとしての実績とはみなさない例】

- 例 1) 病院でスポーツ選手のリハビリテーションを担当している。
- 例 2) 施術所でスポーツ選手の外傷治療を行っている。
- 例 3) 体力トレーニング指導のみを行っている。
- 例 4) フィットネスクラブで健康・体力向上のための運動指導を行っている。

(2) 推薦団体とのこれまでの関わり

- ①推薦団体内でのトレーナーとしての活動実績
- ②国民体育大会を含む国内での活動実績
- ③国際大会での活動実績
- ④推薦中央競技団体に関連した競技・種目でのトレーナー実績 (中央競技団体等・プロスポーツ団体推薦者のみ該当)

(3) 資格取得後の推薦団体における活用方法

- ①推薦団体での今後のトレーナーとしての活用方法
- ②推薦団体での国民体育大会や国際大会での活用方法

(4) スポーツ医・科学に関する研修会・セミナー・学会等の参加実績

- ①複数回の参加実績の有無（参加実績がない場合は選考対象外とします）

※参加・受講の機会が一般に開かれているものとし、私的な勉強会は対象外とする。

(5) 現在のトレーナー活動について

- ①現在の活動内容
- ②無資格で医療類似行為をしていないかどうか
- ③具体的な活動内容が詳細に記入されているか
- ④現在トレーナーとして関わっている競技と、推薦団体との関わりや活動実績に整合性があるか

⑤単に自身の生業としての業務でないか

(6) 受講希望者の動機、保有資格

- ①熱意が感じられるか
- ②単に自身の生業のための資格取得ではないか
- ③保有している医療資格やその他トレーナー関連資格はあるか

(7) 過去の受講歴

- ①過去の受講歴（共通科目検定試験、理論試験、実技試験の結果）

(8) 留意事項

- 推薦にあたっては、JSPO-AT に求められる役割・資質等についてふさわしい人物を、推薦団体内のスポーツ医科学委員会やトレーナー部会、都道府県トレーナー協議会またはそれに該当する組織等において決定してください。または、それらの組織の意見を十分に聴取した上で推薦者を決定し、公平性ならびに透明性が保たれるようご注意ください。
- 受講希望者に対しては、経歴書の内容を熱意が感じられるよう記述するよう指示してください。

【平成31年／2019年度養成講習会版】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会 受講希望者経歴書

推薦団体名：〇〇県スポーツ協会

推薦順位： 1位

氏名	タイキョウ タロウ	性別	男	生年月日	1987年4月1日 (満32歳)
現住所	〇〇県〇〇市〇〇町0-0-0	〇〇マンション101号室	日中連絡の取れる電話番号	000 (0000) 0000	
勤務先	〇〇県〇〇市〇〇町0-0-0	〇〇マジックニック	勤務先名：〇〇スポーツクリニック	000 (0000) 0000	
学歴①	学校名：〇〇大学〇〇学部	卒業年月日：2010年3月	学歴②	学校名：〇〇大学大学院〇〇車両博士前期課程	卒業年月日：2012年3月
学歴③	学校名：〇〇大学大学院〇〇車両博士後期課程	卒業年月日：2016年3月	受講履歴	前回の受講状況	前回の受講状況
	前回の受講番号	専門科目講習会：未修了・修了	前回の受講履歴	未要員・不合格・合格	前回の受講履歴
	220AT0001	理論試験：	220AT0001	未受験・2回不合格・合格	220AT0001
	○〇県スポーツ協会	実技試験：	○〇県スポーツ協会	その他：理論試験合格証No.220AT0001	実技試験：
■受講動機を詳細に記入してください。					
<p>これまでのトレーナーとしての活動歴</p> <p>現在のトレーナー活動で感じていること</p> <p>AT資格を取得しようと思ったきっかけ</p> <p>AT資格取得にあたっての意気込み</p> <p>AT資格取得後の活動</p>					

■学術集会や研修会等の参加実績を記入してください。					
研修会名	主催者	開催日	研修内容		
A学会	(一社) AT学会	2018/7/7	アスレティックトレーニング学ほか		
日本整形外科医学会	日本整形外科医学会	2017/11/18~19	投球障害の予防ほか		
日本整形外科スポーツ医学会	日本整形外科スポーツ医学会	2016/9/16~17~18	・スポーツによる脊椎損傷 ・女子選手の健康管理		
■現在のトレーナー活動について記入してください。					
<p>①あなたが行っているトレーナー活動においてはまるもの全てをつけてください。</p> <p>②あなたが現在行っているトレーナー活動について具体的に記入してください。</p>					
<p>・対象（カテゴリー、年齢、性別など）</p> <p>・頻度（1週間、1か月にどれくらい活動をしているか）</p> <p>・活動内容（①で選択したものについて具体的に）</p> <p>・活躍にあたって心がけていること</p> <p>・自身のトレーナーとしての目標</p> <p>・自身の知識、技術を高めるためにしていること</p> <p>などを記入してください。</p>					
<p>③あなたが現在トレーナーとして中心的に携わっている競技・種目について記入してください。</p> <p>・競技（陸上、野球など）、種目（100m、走り幅跳びなど）を記入し、あなたが選手などのようないき方をしているか、ご自身の役割を記入してください。</p>					
■以下該当する場合は記入してください。					
活動期間	指導対象	活動内容	資格名	認定団体	
2016.4~現在	〇〇ナショナルチーム	年3回、1週間の強化合宿に帯同		〇〇-〇〇	厚生労働省
	〃	2014アジア大会、2016夏季五輪に帯同		〇〇-〇〇	BOC
2014.4~2016.3	〇〇高校〇〇部	週に1度、トレーニング指導を担当			
2012.4~2016.3	text...	text...			
2010.4~2012.3	text...	text...			
JOC医科学	委嘱期間	2016.4~現在	役職		
スタッフ歴	text...	text...	text...		

平成31年度公認アスレティックトレーナー養成講習会 受講の流れ

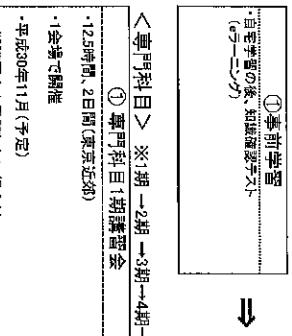
1. 受講者の募集から決定まで

受講者の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・本会加盟団体 ・本会が特に認める国内競技団体 ※上記団体を通じて受講者を募集する。
--------	--

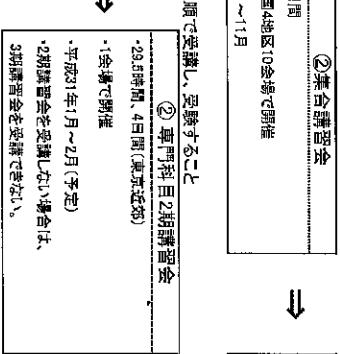
2. 講習会受講・検定試験受験の流れ

- 受講有效期間(5年間)内に共通科目講習会・専門科目講習会をすべて受講し、共通科目検定試験および専門科目理論試験に合格しない場合は、受講者としての権利をすべて喪失することになります。
- (共通科目、専門科目の順は問いません)

<共通科目>



<専門科目> 指定期間(5年間)内に受講し、受験すること

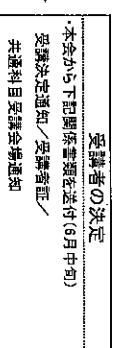
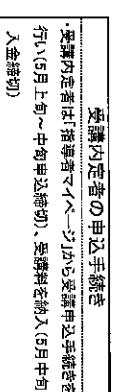
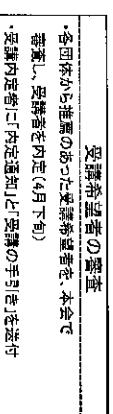
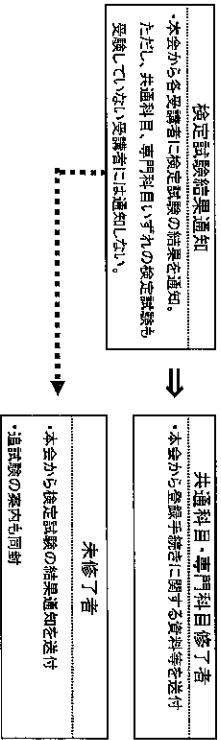


<専門科目検定試験>

①理論試験
・平成31年11月上旬～下旬(予定)
・22問のマークシート式
・全国ヶ所で実施

※専門科目講習会をすべて受講したものが受験できる。
※検定試験会までの受講有効期間は5年間とする。

3. 検定試験結果通知から修了・登録まで



2019年度公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者推薦書

1. 受講希望者について記入してください。

推薦順位	①受講希望者名	②推薦団体でのこれまでの主な活動内容 (具体的に記入してください)	③資格取得後推薦団体での活用方法 (具体的に記入してください)	④過去の推薦実績
1				
2				

※ 著査の結果、受講内定者が出ない場合や、推薦順位下位の者を受講者として内定する場合があります。

※ 受講者推薦書の内容も選考対象となります。詳細に記入してください。

2. 受講希望者を決定した会議体や協議会の名称を記入してください。貴団体所属の公認アスレティックトレーナー（またはスポーツドクター）の推薦があった場合はその方の氏名を記入してください。

例：本会医学委員会にて決定／公認ATOの氏の推薦／本県トレーナー協議会の推薦

3. 貴団体における公認アスレティックトレーナー専門の義務付け状況を記入してください。
また、団体内でJSPO-ATの活用を明文化している規定等がある場合は、推薦書と併せてご提出ください。

例：国体に専門を義務付けている／ナショナルチームに専門を義務付けている／国内リーグの各チームに専門を義務付けている 等

団体名 _____

担当者名 _____

共通科目Ⅲ集合講習会 受講会場一覧

都市	会場番号	開催期日	会場
東京	第 1 会場	7月26日(金) ~ 7月29日(月)	ベルサール神田 〒101-0053 東京都千代田区神田美土町7 Tel: 03-5281-3053
	第 2 会場	8月22日(木) ~ 8月25日(日)	KFCホール 〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1 Tel: 03-5610-5801
	第 3 会場	9月20日(金) ~ 9月23日(月・祝)	ベルサール神保町アネックス 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1 Tel: 03-3346-1396
	第 4 会場	10月17日(木) ~ 10月20日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10 Tel: 03-3261-5014
	第 5 会場 ※1	8月31日(土) ~ 9月1日(日) 9月7日(土) ~ 9月8日(日)	日本体育大学世田谷キャンパス 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 Tel: 03-5706-0900
名古屋	第 6 会場	11月8日(金) ~ 11月11日(月)	TKP名古屋駅前カンファレンスセンター 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK名駅前ビル Tel: 052-569-5020
大阪	第 7 会場	8月9日(金) ~ 8月12日(月・祝)	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 Tel: 06-6302-5571
	第 8 会場	10月18日(金) ~ 10月21日(月)	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 Tel: 06-6302-5571
福岡	第 9 会場	8月2日(金) ~ 8月5日(月)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 Tel: 092-432-7250
	第 10 会場	10月25日(金) ~ 10月28日(月)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 Tel: 092-432-7250

※ 第5会場「日本体育大学」については、開催期日が多少前後する可能性があります。

開催期日に変更が生じた場合は、変更時に第5会場(日本体育大学)にお申込みされている方にメールでその旨をご連絡いたします。

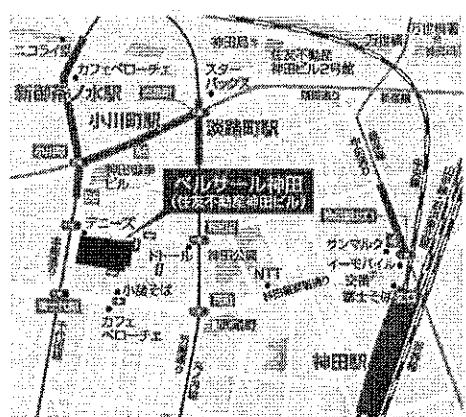
共通科目Ⅲ集合講習会 基本日程表(予定)

1日目	2日目	3日目	4日目
場作り（導入）	場作り（導入）	場作り（導入）	場作り（導入）
コーチングの課題を整理しよう	コーチングの環境を整えよう	年間計画を立ててみよう	様々なコーチング環境について考えてみよう
プレーヤーセンタードなコーチングを実践しよう	にとのつながりを最適化しよう	アウトカムベースの練習作りと評価をしてみよう	コーチの資質・能力をまとめてみよう
昼食	昼食	昼食	昼食
コーチングにおける倫理的判断力を高めよう	対人関係の問題解決法について考えてみよう	スキル向上に焦点をあてた練習を組み立てよう	コーチ自身の幸福について考えてみよう
事故の予防と対処法について考えよう	スポーツ科学を活用しよう	コーチングセッションの運営力を高めよう	コーチ自身の成長の計画を立ててみよう
1日目の振り返り	2日目の振り返り	3日日の振り返り	4日日の振り返り

共通科目Ⅲ集合講習会 会場案内図

第1会場(東京)「ベルサール神田」

住所	〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル2・3F
交通	「小川町駅」B6出口徒歩2分(新宿線) 「新御茶ノ水駅」B6出口徒歩2分(千代田線) 「淡路町駅」A6出口徒歩3分(丸ノ内線) 「神田駅」北口徒歩7分(JR線) 「神田駅」J4番出口徒歩7分(銀座線) 「大手町駅」C1出口徒歩8分(半蔵門線,丸ノ内線,東西線,三田線,千代田線)
TEL	03-5281-3053



第2会場(東京)「KFCホール」

住所	〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1
交通	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結 JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分 JR中央・総武線「両国駅」西口より徒歩約7分
TEL	03-5610-5801



第3会場(東京)「ベルサール神保町アネックス」

住所	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1 住友不動産千代田ファーストウイング1F
交通	「神保町駅」A2番出口徒歩2分(半蔵門線・新宿線・三田線) 「九段下駅」J5番出口徒歩5分(東西線・半蔵門線・新宿線) 「水道橋駅」西口徒歩7分(JR線) 「飯田橋駅」A2出口徒歩12分(JR線・有楽町線・南北線・大江戸線)
TEL	03-3346-1396



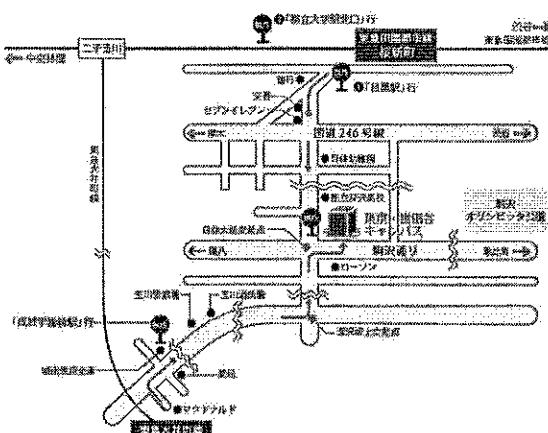
第4会場(東京)「ベルサール九段」

住所	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3・4F
交通	「九段下駅」J7番出口徒歩3分(東西線) 「九段下駅」J5番出口徒歩3分(半蔵門線・新宿線) 「神保町駅」A2出口徒歩7分(半蔵門線・新宿線・三田線) 「飯田橋駅」東口徒歩10分(JR線) 「水道橋駅」JA2出口徒歩10分(三田線)
TEL	03-3261-5014



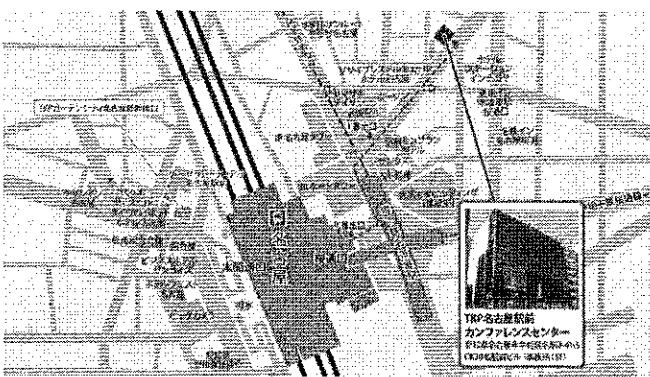
共通科目Ⅲ集合講習会 会場案内図

第5会場(東京)「日本体育大学世田谷キャンパス」	
住所	〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
交通	「桜新町駅」徒歩15分(東急田園都市線)、バス5分 「等々力駅」徒歩25分(東急大井町線)、バス10分
TEL	03-5706-0900

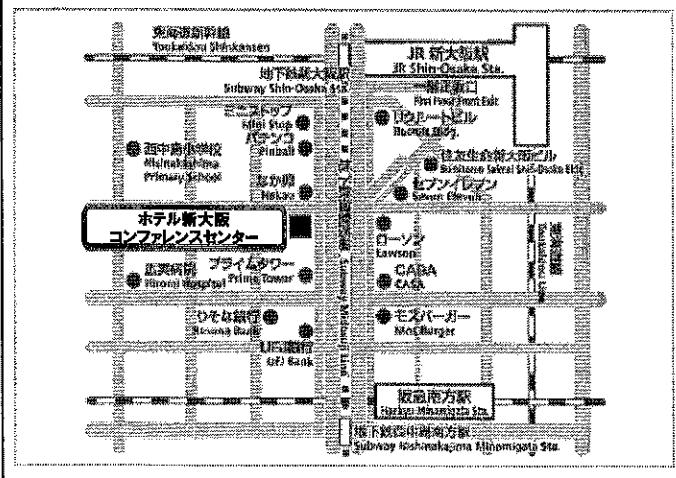


<http://www.nittai.ac.jp/access/tokyo.html>

第6会場(名古屋)「TKP名古屋駅前カンファレンスセンター」	
住所	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK20名駅前ビル
交通	JR東海道本線 名古屋駅 桜通り 徒歩5分 名古屋市営桜通線 名古屋駅 1出口 徒歩3分 名古屋市営東山線 名古屋駅 1出口 徒歩3分 名鉄名古屋本線 名鉄名古屋駅 徒歩5分 JR関西線 名古屋駅 桜通り 徒歩5分 JR東海 中央線 名古屋駅 桜通り 徒歩5分
TEL	052-569-5020



第7・8会場(大阪)「ホテル新大阪カンファレンスセンター(旧チサンホテル新大阪)」	
住所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19
交通	JR新大阪駅より徒歩約5分 地下鉄御堂筋線新大阪駅(7番出口)より徒歩約5分 地下鉄御堂筋線西中島南方駅(1番出口)より徒歩約5分
TEL	06-6302-5571



第9・第10会場(福岡)「TKPガーデンシティ博多新幹線口」	
住所	〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル
交通	JR鹿児島本線 博多駅 筑紫口 徒歩1分 福岡市地下鉄空港線 博多駅 筑紫口 徒歩1分
TEL	092-432-7250

